

安楽川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

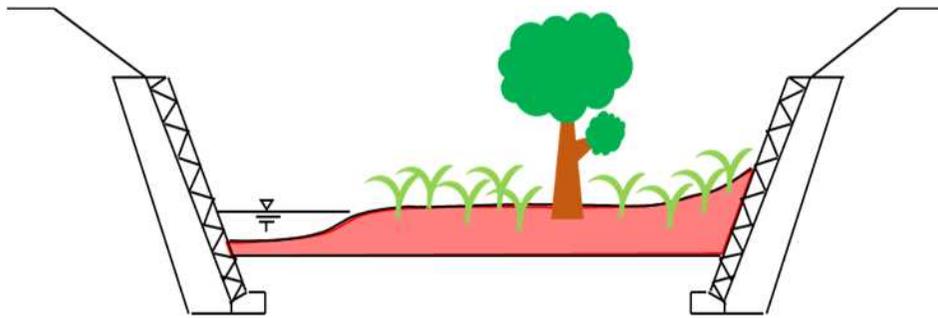
安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水氾濫対策等【鹿児島県】

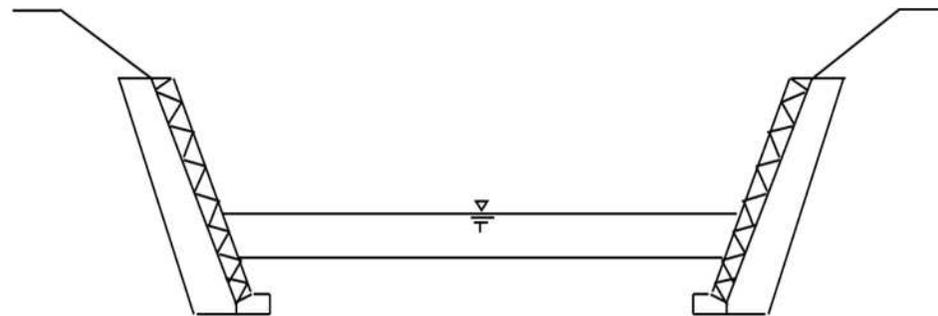
対策(イメージ)

対策実施前



(河道掘削・樹木伐採等 実施)

対策実施後



■ 対策実施前



■ 対策実施後



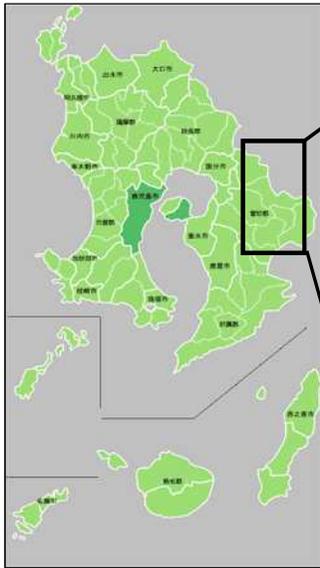
※ 定期的な河道掘削

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策等	河道掘削, 樹木伐採等	鹿児島県	▶		

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

定期的な河道掘削【都城市】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河床整備	河道掘削	都城市		➔	

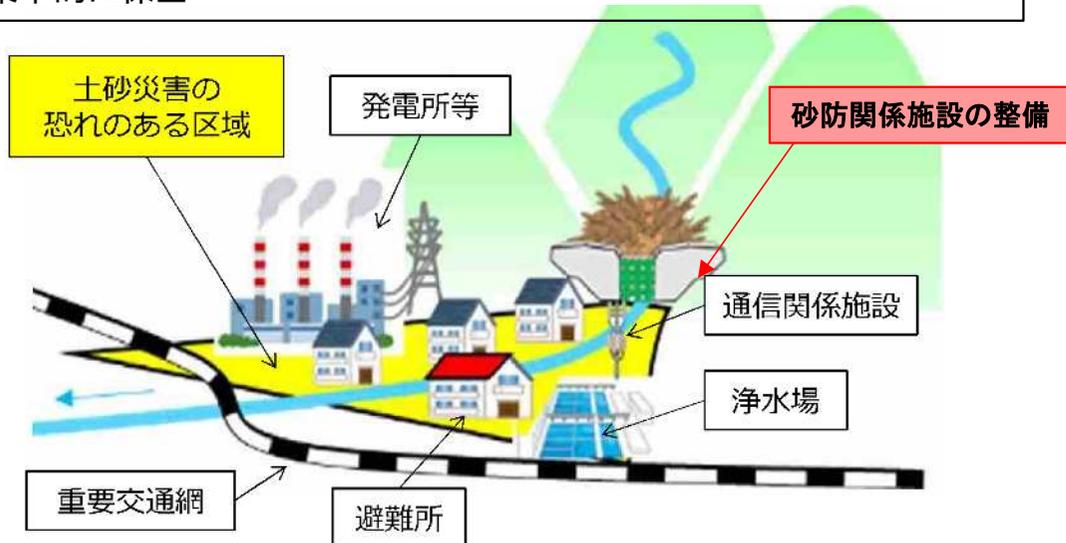
安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全，治山施設整備の取組【鹿児島県 等】

- 人工造林(再造林)などの整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・森林整備による流出抑制対策(鹿児島県)
 - ・治山施設整備による土砂流出抑制対策(鹿児島県)

【森林整備イメージ】

人工造林(再造林)



間伐

整備前



整備後



【治山施設整備イメージ】

整備前



整備後



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全	森林整備による流出抑制対策	県・市町・森林組合等			
	治山施設の整備	治山施設整備による土砂流出抑制対策	鹿児島県			

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

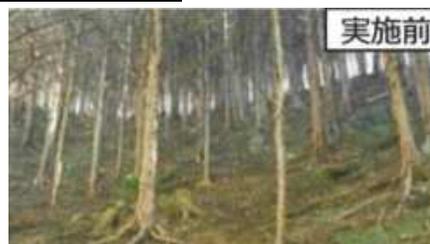
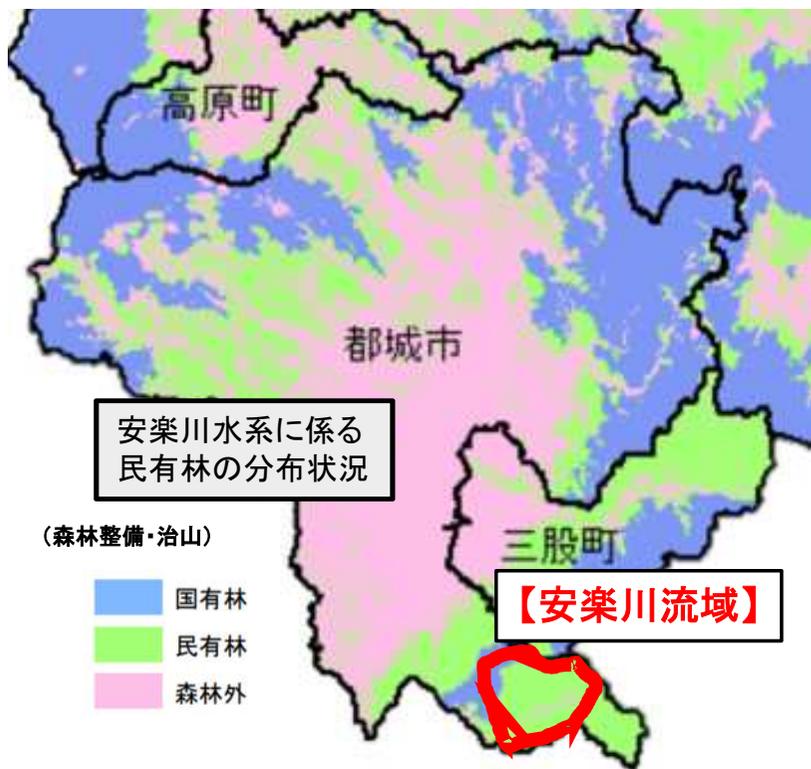
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策【宮崎県】

【事業名】 森林整備事業・治山事業

【取組状況】

再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等



実施前



実施後

樹木成長 下層植生繁茂



着手前



完成

山腹工による土砂流出防止対策

【安楽川流域の森林の状況】

(都城市の一部)

森林面積: 1,973ha

国有林: 273ha

民有林: 1,700ha

【安楽川流域の森林整備の実施状況】

(令和3年度)

再造林: 4ha 治山施工

下刈り: 34ha 0箇所

除間伐: 9ha

【流域治水への事業効果等】

(保水機能効果)

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

(防災・減災効果)

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。



流木及び土砂を捕捉した治山ダム



保安林整備による根系発達

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流出抑制対策	森林整備(再造林、保育) 治山対策(治山ダム、山腹工等)	宮崎県	▶		

安楽川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上（「土砂災害警戒区域等マップ」、「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,110箇所
土砂災害特別警戒区域 : 19,545箇所
(令和4年3月末時点)

土砂災害警戒区域, 雨量, 土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



鹿児島県河川砂防情報システム



土砂災害防災訓練



土砂災害に関する出前講座



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	▶		

安楽川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県, 国土交通省, 気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように安楽川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

安楽川域内に設置されている各施設数 (R4.3末時点)

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	1			2
気象庁				
合計	1	0	0	2

安楽川流域における水位計・監視カメラ・雨量計の位置図



凡例

▽	水位計, カメラ
▲	水位計
▼	危機管理型水位計
○	雨量計(県)
●	雨量計(気象庁)



危機管理型水位計



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供	鹿児島県, 国土交通省, 気象庁			

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報(洪水浸水想定区域や浸水実績)について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表(R3.2月末より運用)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県		▶	

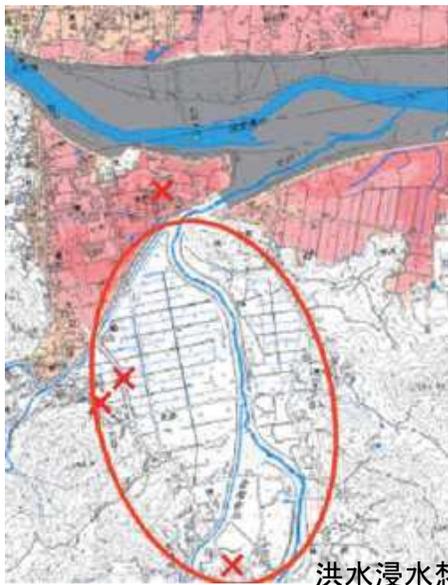
安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

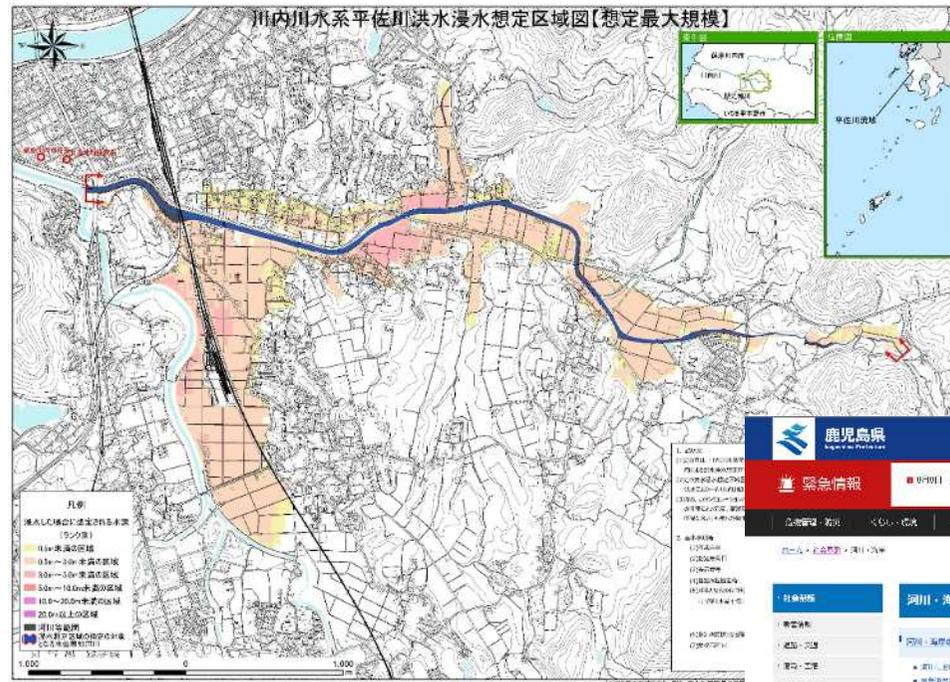
洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- 令和3年の水防法の改正までは、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで「浸水想定区域(図)」として公表予定

浸水想定区域図
赤×印は被害発生位置

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県		→	

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援 【鹿児島県】

逃げキッド®

マイ・タイムライン 検討ツール

余裕を持って安全に避難するために。マイ・タイムラインをつくって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインがあると / **マイ・タイムラインがないとき**

3日前 / 1日前 / 半日前 / 5時間前

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村	地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日	年	月	日
5～3日前	行政から知らせられる情報 目：気象・水害情報 等 河川管理者	「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで	主なそなえ 資料2で参考情報で、シールを貼ってみよう！ オリジナルの行動を書きこよう！	そなえの例 ○台風の予報を観る始める ○1週間の薬を 病室に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるような ものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行くものを 準備する ○家族と連絡を取りあう ○待んでいるところの上流の 雨量を観る始める ○携帯電話の充電 ○サイドマップで避難場所、 避難手段を再確認 ○川の水位を観る始める ○通行止め情報が ないか、 インターネットで確認 ○携帯メール等で 避難準備情報の受信 ○避難しやすい服装に着替える	雨害が 強くなる 前に行き 避難する 準備を しておく 時期	水位等の 状況を 把握して 避難行動を 開始する 時期	身の安全を 確保する 時期
2日前	○気象情報 ○自治体から発表される 気象情報(前報)	台風が発生 大雨が降る可能性があるから まだ雨や風が強いから	台風が近づいて、雨や 風がだんだん強くなる	○台風の予報を観る始める ○1週間の薬を 病室に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるような ものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行くものを 準備する ○家族と連絡を取りあう ○待んでいるところの上流の 雨量を観る始める ○携帯電話の充電 ○サイドマップで避難場所、 避難手段を再確認 ○川の水位を観る始める ○通行止め情報が ないか、 インターネットで確認 ○携帯メール等で 避難準備情報の受信 ○避難しやすい服装に着替える	雨害が 強くなる 前に行き 避難する 準備を しておく 時期	水位等の 状況を 把握して 避難行動を 開始する 時期	身の安全を 確保する 時期
1日前	○気象情報 ○自治体から発表される 気象情報(前報)	台風が近づいて、雨や 風がだんだん強くなる	雨が降って、川の 水がだんだん増える	○台風の予報を観る始める ○1週間の薬を 病室に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるような ものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行くものを 準備する ○家族と連絡を取りあう ○待んでいるところの上流の 雨量を観る始める ○携帯電話の充電 ○サイドマップで避難場所、 避難手段を再確認 ○川の水位を観る始める ○通行止め情報が ないか、 インターネットで確認 ○携帯メール等で 避難準備情報の受信 ○避難しやすい服装に着替える	雨害が 強くなる 前に行き 避難する 準備を しておく 時期	水位等の 状況を 把握して 避難行動を 開始する 時期	身の安全を 確保する 時期
半日前	○気象情報 ○自治体から発表される 気象情報(前報)	雨が降って、川の 水がだんだん増える	激しい雨で、川の水が どんどん増えて、 河川敷にも水が流れる	○台風の予報を観る始める ○1週間の薬を 病室に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるような ものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行くものを 準備する ○家族と連絡を取りあう ○待んでいるところの上流の 雨量を観る始める ○携帯電話の充電 ○サイドマップで避難場所、 避難手段を再確認 ○川の水位を観る始める ○通行止め情報が ないか、 インターネットで確認 ○携帯メール等で 避難準備情報の受信 ○避難しやすい服装に着替える	雨害が 強くなる 前に行き 避難する 準備を しておく 時期	水位等の 状況を 把握して 避難行動を 開始する 時期	身の安全を 確保する 時期
5時間前	○気象情報 ○自治体から発表される 気象情報(前報)	激しい雨で、川の水が どんどん増えて、 河川敷にも水が流れる	川の水位が いっぱいであつたぞ！ どっさり、川の	○台風の予報を観る始める ○1週間の薬を 病室に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるような ものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行くものを 準備する ○家族と連絡を取りあう ○待んでいるところの上流の 雨量を観る始める ○携帯電話の充電 ○サイドマップで避難場所、 避難手段を再確認 ○川の水位を観る始める ○通行止め情報が ないか、 インターネットで確認 ○携帯メール等で 避難準備情報の受信 ○避難しやすい服装に着替える	雨害が 強くなる 前に行き 避難する 準備を しておく 時期	水位等の 状況を 把握して 避難行動を 開始する 時期	身の安全を 確保する 時期

今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県			▶

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県，関係市】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センターによる出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



てく・てく歩こう～

参加人数
240人

その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修，出前講座等	鹿児島県，関係市			➔

地域の防災力向上【鹿児島県，関係市】

個別避難計画作成

- ・ 市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- ・ 当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- ・ また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしており、令和4年4月1日現在の作成状況は、対象者全員が8団体、一部の対象者が31団体、未作成が4団体となっている。
- ・ 県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・ これらを踏まえ、市の努力義務となっている個別避難計画の作成について、**流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。**

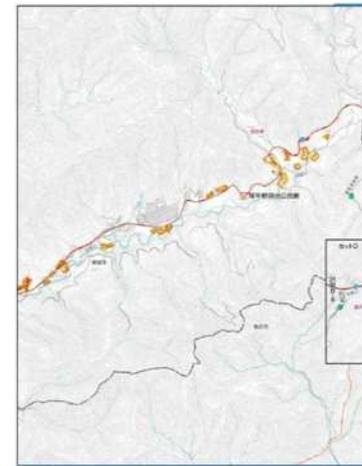
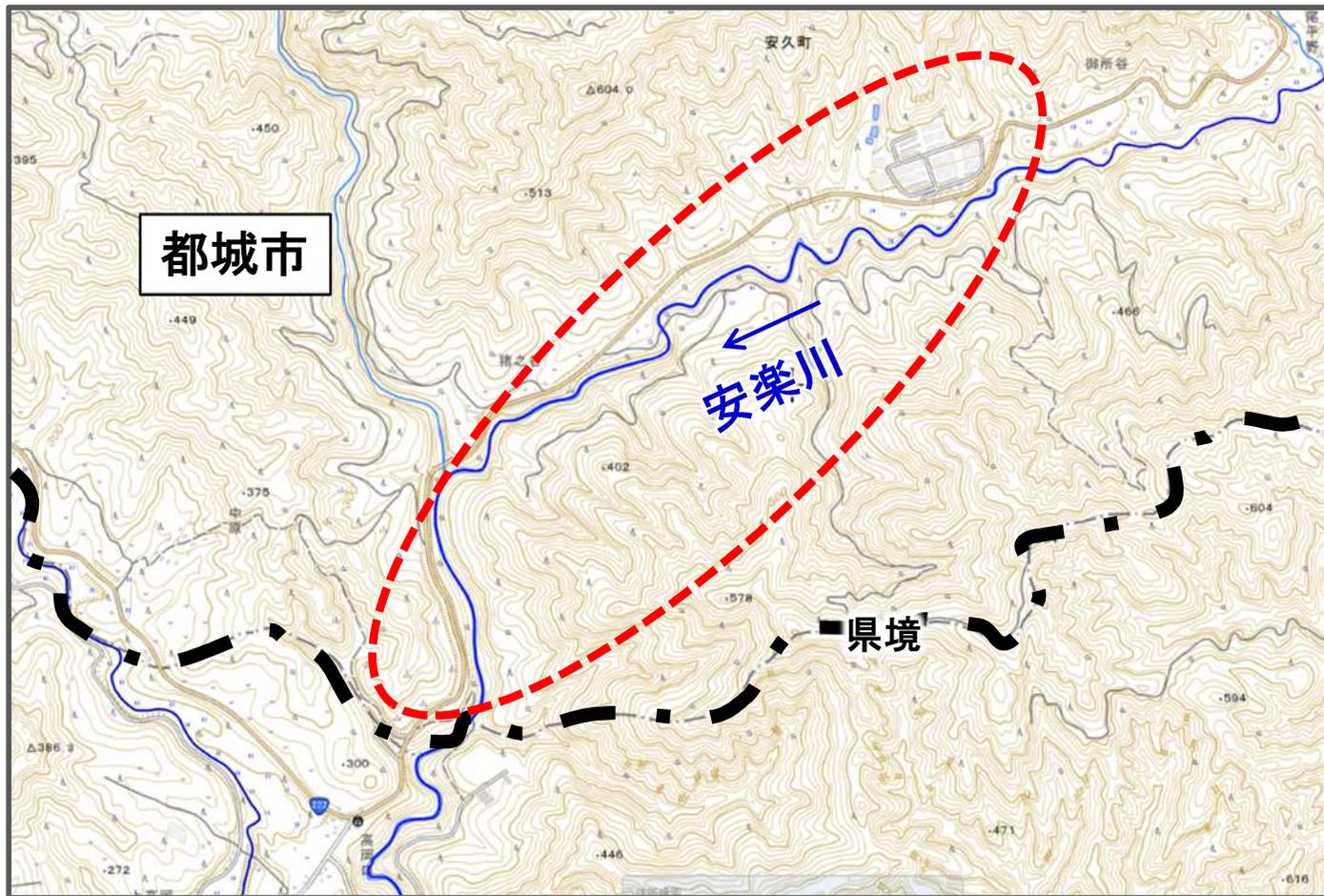
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	・個別避難計画策定支援	鹿児島県，関係市	▶		

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成【宮崎県】

- 令和7年度までに洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域を解消する。
- 作成した洪水浸水想定区域図データを提供する。



作成後は、都城市へデータ提供

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	洪水浸水想定区域図の作成・データ提供等	宮崎県	▶		

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災啓発【宮崎県】

- 宮崎県防災の日（5月第4日曜日）における普及・啓発事業
- 防災週間（8月30日～9月5日）における普及・啓発事業

令和4年度宮崎県防災の日(令和4年度は5/22)における啓発事業

- ①自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ②子ども向けオンラインセミナーの開催
- ③防災への興味関心を惹くため、「避難」「備蓄」のテーマわかりやすく学べる動画を制作し、広報した。



令和4年度防災週間における啓発事業

台風シーズン前に、CM、ショートムービーを2種類作成し、テレビ、SNS広告等で啓発した。

- ①避難情報の周知、避難場所・避難のタイミング
- ②備蓄・非常持出品



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水防災意識の醸成	防災啓発	宮崎県			

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災力の強化【宮崎県】

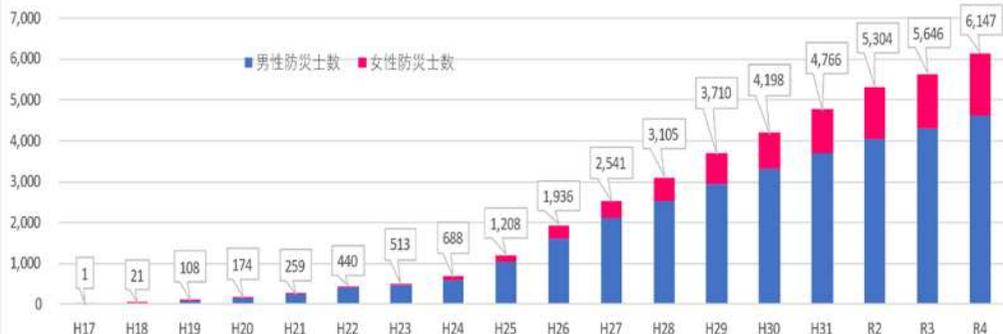
- 防災士養成研修…災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座…自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

・令和4年5月末現在の防災士数
 〈宮崎県〉 6,147名(人口10万人当たり579名)
 〈全国〉 231,845名(人口10万人当たり184名)

・防災士数の順位
 全国…14位 九州…3位(福岡、大分に次ぐ)
 ※人口10万人比では、**全国6位**

防災士の推移(累計)



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水防災意識の醸成	防災力の強化	宮崎県		→	

安楽水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

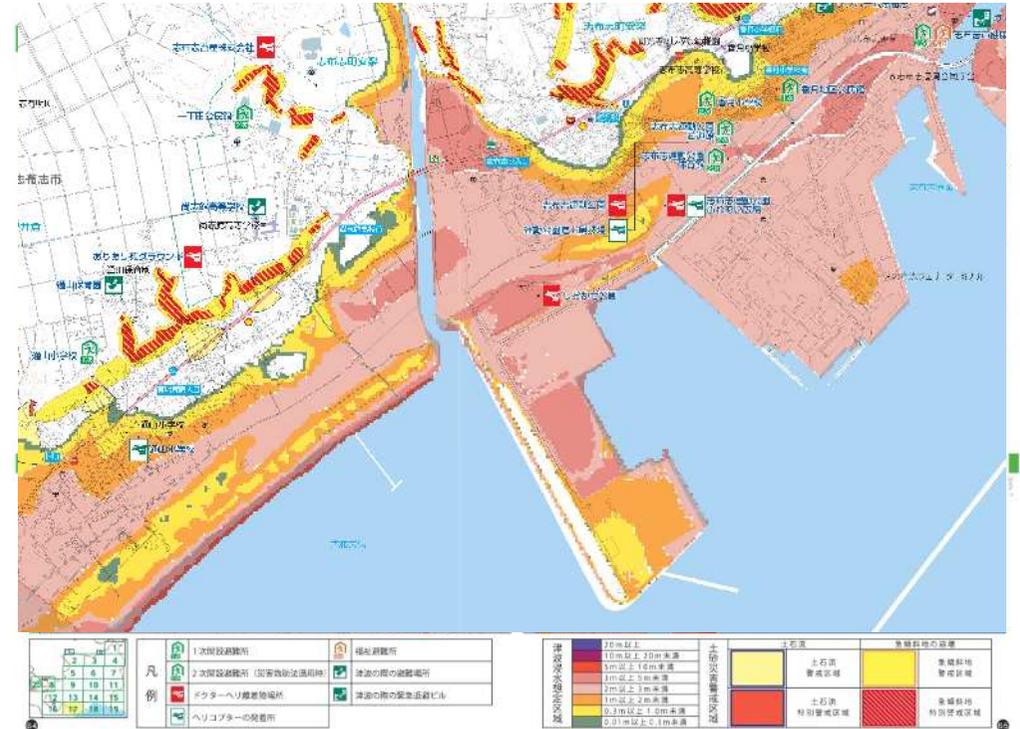
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災マップ作成・配布・周知【志布志市】

- 災害時における市民の適切な避難行動につなげるため、出水期に備え、土砂災害特別警戒区域を示し、避難行動のポイントなどを掲載した総合防災マップを作成し、市内の全世帯へ配布（R2年12月）
- あわせて、インターネットにより閲覧可能なウェブ版防災マップを作成した。
- 今後、降雨による洪水浸水想定区域等を掲載した防災マップの作製を検討する。



情報面(抜粋)



防災マップ(抜粋)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	総合防災マップの作成等	志布志市			

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



大雨の時にどう逃げる

自らの命は自らが守る

「避難」の基本

身近な災害リスクを理解し、的確な避難行動をとる

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分

大雨の時にどう逃げる

個人ワーク

あなたの「避難」

ワークシートを使って避難行動を整理しよう

自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



大雨の時にどう逃げる

グループワーク

みんなで意見交換

誤解や、疑問、不安を解消しよう

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→		

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

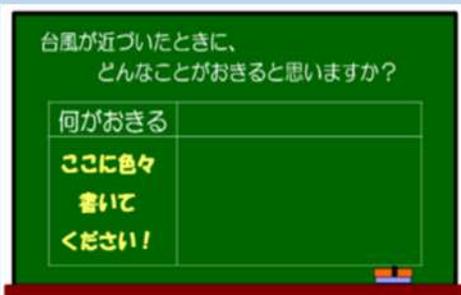
～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

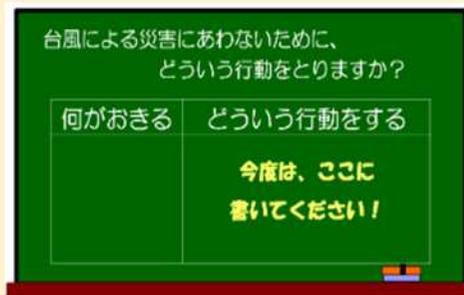
防災教育支援ポータル - 10分で防災

- 短時間で**命を守る防災**の学習
- 子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

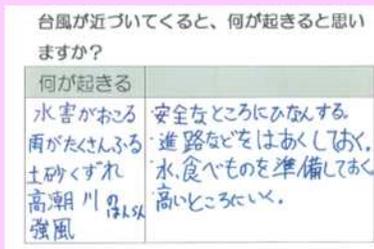
ステップ1 考える① ワークシート



ステップ1 考える② ワークシート



ステップ2 話し合う 他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す



ステップ3 振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所になることがあります。「自分の身は自分で守る」意識を身につけましょう。

起きる災害を考える

自分の行動を考える

行動を話し合う

各班の意見をみんなで聞きましょう



福岡管区気象台 <https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	➔		